

# 海洋法・海洋政策インターンシップ

## インターンシップ実習情報

受入部署	海事局安全政策課
募集人数	1名
実習期間	8～9月頃に2～3週間程度
実習内容	<p>一たび海上で事故が発生すると、人命、経済、自然環境に甚大な影響を与えかねません。我が国の経済発展や国民生活の質の向上を図る上で、船舶航行の安全を確保することは極めて重要です。</p> <p>海事局安全政策課では、事前対策(安全基準の策定・改正、事業者への監査等)から事後対策(事故直後の調査、再発防止策の検討・実施)までを一元的に行うことで、日々、船舶航行の安全確保に取り組んでいます。</p> <p>今回の実習では、船舶の安全性を向上させるための法令改正、船舶事故の原因分析、沈没船からの燃料油流出を防止するための技術検討会の運営、救命胴衣の着用推進のための検討、小型船舶を対象とした安全キャンペーンなどの幅広い安全確保対策に参加していただくとともに、これらの実習を通じて、船舶航行の安全確保のための新たな施策を提案していただきます。</p>
国内出張の有無	<p>⑦・無 用務 (海難事故解析センターにおける事故解析、小型船舶を対象とした安全キャンペーンへの参加)</p> <p>出張先 (海難事故解析センター(三鷹市)、地方運輸局)</p> <p>期間 (各1～2日程度)</p>
応募要件等	特になし

# 海洋法・海洋政策インターンシップ

## インターンシップ実習情報

受入部署	気象庁 地球環境・海洋部 海洋気象課 海洋環境解析センター (参考)海洋気象課は、海洋の観測及び成果の発表に関する業務を担当
募集人数	1名
実習期間	平成27年11月上旬～12月上旬にかけて3週間程度
実習内容	気候変動・地球温暖化に関わる海洋変動について、気象庁が発表している海洋観測データ(水温、塩分、海流、二酸化炭素等、酸性度)に基づく情報の作成・発表プロセスを体験する。
国内出張の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 用務 ( ) 出張先 ( ) 期間 ( )
応募要件等	海洋学についての知識があることが望ましい。

# 海洋法・海洋政策インターンシップ

## インターンシップ実習情報

受入部署	海上保安庁交通部整備課安全システム開発室
募集人数	1名
実習期間	1月末～2月上旬(2週間程度)
実習内容	<p>海上保安庁では、安全かつ効率的な海上交通に資するため、次世代の海上通信インフラとして期待されているVHF Data Exchange System(VDES)の開発に係る国際的な検討に参画している。</p> <p>当該検討の一環として、平成28年2月に「VDESに関するIALA(国際航路標識協会)ワークショップ」が東京で開催され、海上保安庁交通部が事務局を担当する予定である。</p> <p>実習においては、当該ワークショップに参加することにより国際会議における議論を体験するほか、当該ワークショップのための資料の作成補助、事務局運営補助等に従事することにより、官公庁業務の一端を体験する。</p>
国内出張の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 用務 ( ) 出張先 ( ) 期間 ( )
応募要件等	特に問わない